

# MetaMoJi Classroom を活用した英語授業の展開例

飛騨高山高校 岡本校舎英語科 林 輝将

## 【MetaMoJi Classroom 活用に先立って】

外国語学習では4技能を総合的かつ統合的に指導することが求められる。それを達成するためには言語活動の機会を十分に設けることが必要不可欠であるが、活動時間の捻出に大きな課題を感じていた。しかし、昨今の急速な教育現場のICT化がその課題への大きな突破口になるだろう。

教育現場を取り巻く環境は目まぐるしく変化し、今後も変わり続けることが予想される。しかし、教育の本質は今も昔も普遍的である。タブレットや授業支援アプリはあくまでも教師が授業を実施する上での補佐的な役割にすぎず、主体になることはない。従来の指導を継続していく中で、授業内外の業務の効率化のために、ICT機器が一助になることが理想的である。これまで少し煩わしかった作業をタブレットや本アプリを活用して補う、そんな気楽な気持ちで活用し始めるとよいだろう。下記に紹介した活動はあくまでも一例であり、授業支援アプリの活用方法に明確な正解はない。是非、自身の授業スタイルに合わせて運用していただくと幸いです。

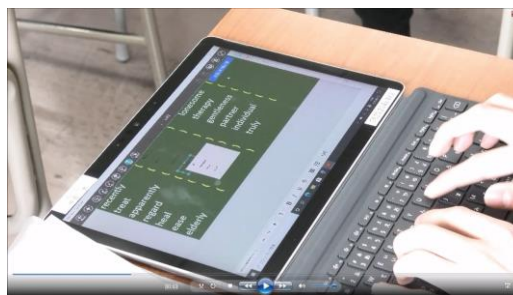
## — 活 動 紹 介 —

### 【活動1】単語テスト

授業の冒頭を実施する英単語テストを、従来は紙媒体で実施していたが、本アプリ上にテストを配信し、データ上で採点まで完結するように変更した。

利点としてタイピングで解答できるため、小テストに掛かる時間を大幅に短縮することができる。用紙の配布・回収時間がないことも大きなメリットである。特筆すべきデメリットはないが、強いて言えば手で書かせる機会が減少することが今後どのような影響を及ぼすか危惧している。

[ 動画 URL: <https://youtu.be/Ngl3Jv8JwTI> ]



### 【活動2】和文英訳

教科書の文章を和訳する際に、タブレットに入力することで従来よりも早く書くことが可能になる。また解答を確認する際に口頭で済ませるのではなく、発表する生徒の画面を前方の白板に投影することにより、視覚的にも解答を把握できる。そのため、聞き間違いや写し間違いの起きる可能性を引き下げた。

またペン先の色を変更したり、矢印等を挿入したりして生徒はより視覚的に文構造の把握をしやすくなった。

[ 動画 URL: [https://youtu.be/\\_KtFfGBr\\_Cw](https://youtu.be/_KtFfGBr_Cw) ]

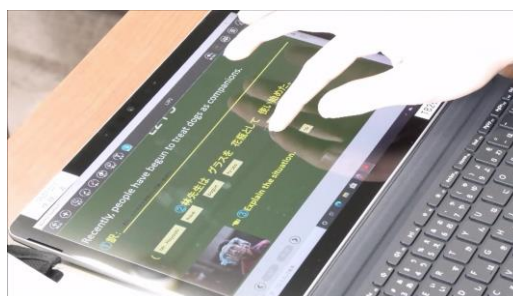


### 【活動3】並び替え問題

並び替え問題を実施する際に、付箋機能を用いることで与えられた英単語を言葉通り実際に並び替えながら解答を導くことが可能になる。そのため、それぞれの生徒の活動の様子を確認することで、どこで躓いているのか客観的に把握することができる。

また実際に英単語を動かしながら解答を導き出すため、生徒はパズルのような感覚で問題演習に取り組むことができる。文法学習に対する抵抗感の緩和に役立ってほしい。

[ 動画 URL: <https://youtu.be/2-kxDdhUHd8> ]

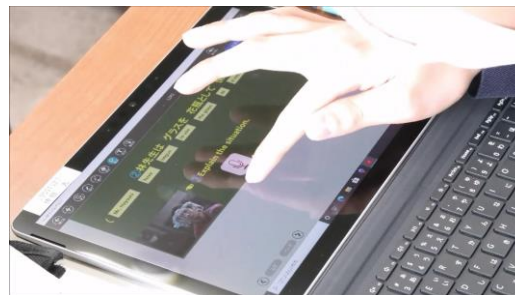


#### 【活動4】写真をみて音声録音

口頭で表現する活動の際に、生徒はペア同士で意見の交流ができたとしても、指導者が授業時間内に全ての生徒を確認することは従来、不可能であった。しかし、音声録音することで授業時間外に確認することが可能になり、個に応じた指導がしやすくなった。それに呼応するように、会話活動に対する生徒のモチベーションも向上した。

しかし、授業時間外に音声を一人ひとり確認する必要があるため、毎時間の実施は現実的ではない。

[ 動画 URL: <https://youtu.be/OS22Mm3Lfio> ]

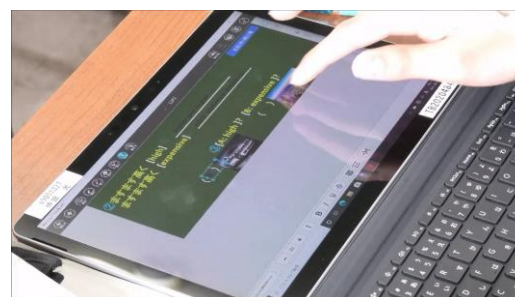


#### 【活動5】写真をみて適語選択

本アプリに写真を容易に追加できるため、口頭では説明しづらかった内容を、写真を用いて説明することがより手軽になった。従来も可能ではあったが、前方の白板に投影する以外に方法がなかったため、必然的に写真を大きくすることが求められ、結果的に汎用性が低かった。

しかし、本アプリへの写真の添付が可能になったことで、視覚的な情報を活用した新たな活動の実施ができるようになった。

[ 動画 URL: [https://youtu.be/7B\\_e6fB8auc](https://youtu.be/7B_e6fB8auc) ]



#### ○活動の成果

一点目は活動に所要する時間の大幅な短縮である。従来と同じ活動を実施するにしても紙媒体からタブレットに移行したことにより、活動時間を二割ほど削減することができた。それによって、よりテンポのよい授業展開が可能になり、捻出した時間で Speaking 活動に時間を補填した。

二点目としては個に応じた指導の質の向上である。授業内での活動成果を本アプリ上に半永久的に保存できるため、授業外であっても成果物を確認することが可能になった。そのため、生徒の活動に対してより具体的なフィードバックを提供できるようになった。

#### ○今後の課題

文字を入力する場合に、付属のキーボードを使用する方法と、直接文字をなぞって書き込む方法がある。後者の方法を用いる場合に、現状として指でなぞってタブレットに書き込む他に方法がない。これでは操作性が悪く、作業の効率が落ちてしまう。タッチペンの導入を検討したい。

MetaMoJi Classroom と紙媒体にはそれぞれの特色とメリット・デメリットがある。どちらか一方に固執するのではなく、場面に依じて適した媒体を活動に取り入れることが重要である。そのためにも自ら研究し、他の指導者とも密に情報を共有しながら、組織として新しい教育の形を模索していくことが必要不可欠である。今後もその達成に向けて尽力していきたい。

#### ●MetaMoJi Classroom を活用した新たな家庭学習の形

本アプリを授業内だけでなく、授業外でも運用することで、新たな家庭学習の形を確立した。音声や動画を容易に貼りつけることが可能なため、動画によるレポート課題を新たに出題することが可能になった。

動画形式にすることで、提出した動画に創意工夫や個性が表れ、学力の定着だけでなく、プレゼンテーション能力の育成にも必然的に繋がり、大きな手応えを感じている。ただし、課題の確認に莫大な時間を要する欠点がある。

[ 動画 URL: <https://youtu.be/rQUscxEFf14> ]

